

# 令和5年8月14～15日 台風第7号に伴う防災操作の概要

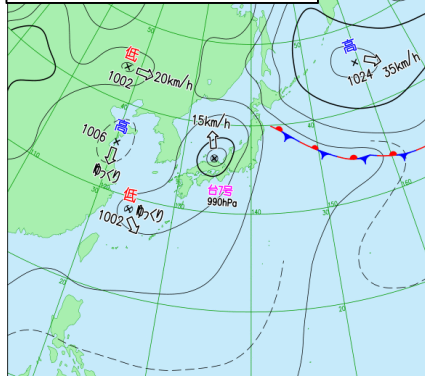
速報

- 台風第7号が近畿地方を北上しながら日本海に進み、岐阜県では台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込んだことにより、大気が非常に不安定な状態となったことから、激しい雨が降りました。
- 徳山ダム流域では、8月15日の朝方頃から雨が降り始め、流域平均総雨量は約234.4mmを観測しました。特に15日22時から23時にかけては流域平均で最大時間雨量32.3mmの降雨を観測しました。
- この降雨の影響で、ダムへの流入量が増加し、洪水量に達する出水となり、洪水調節を実施しました。

台風第7号の進路



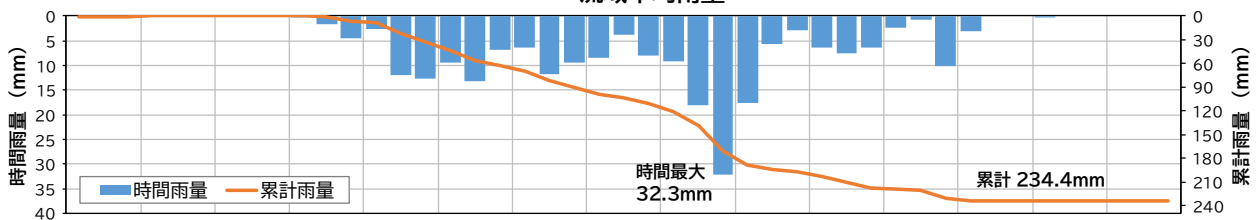
令和5年8月16日21時00分



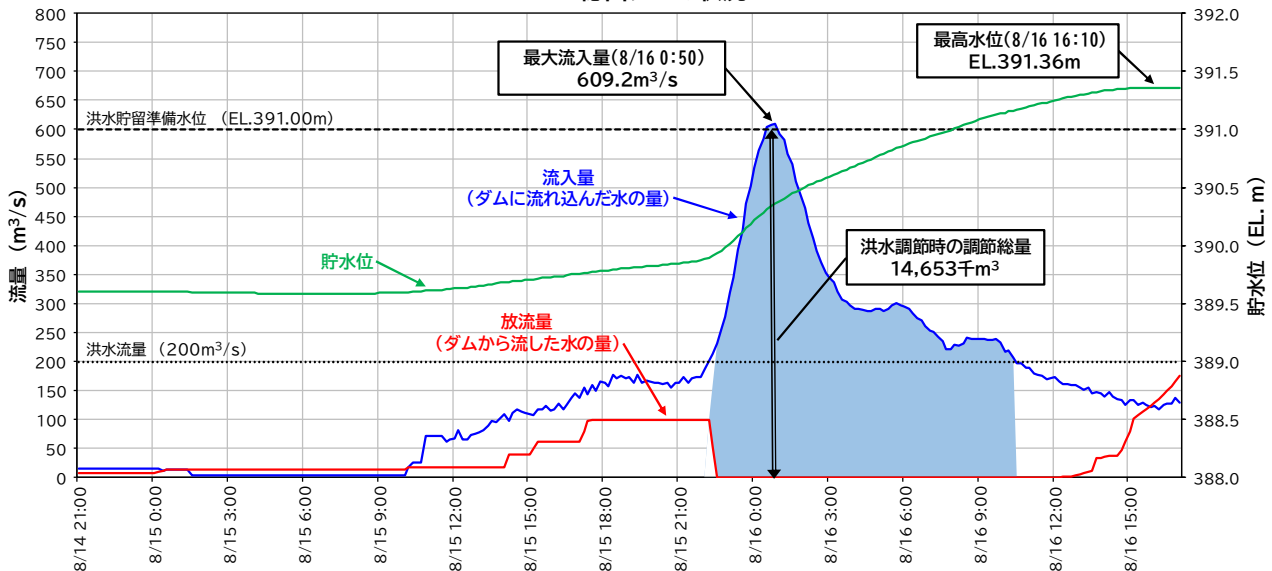
令和5年8月15日23時00分



流域平均雨量



徳山ダムの状況



8月15日 9時頃 貯水位：EL. 389.59m



8月16日 15時頃 貯水位：EL. 391.36m



今回の出水対応で貯水位は1.77m上昇

8月16日 15時頃 常用洪水吐きからの放流開始



- 今回の出水で徳山ダムに流れ込んだ洪水の量は、最大で毎秒約609m<sup>3</sup>(平成20年の管理開始以降9番目に多い量)となりました。また、横山ダムに流れ込んだ洪水の量は、最大で毎秒約804m<sup>3</sup>(昭和40年の管理開始以降11番目に多い量)となりました。
- 徳山ダム・横山ダムの連携した防災操作の実施により、両ダムがない場合と比較して、大垣市万石地点(河口から40.6km)の揖斐川の水位は、約1.3m程度の水位低下効果があったものと推定されます。

【位置図】



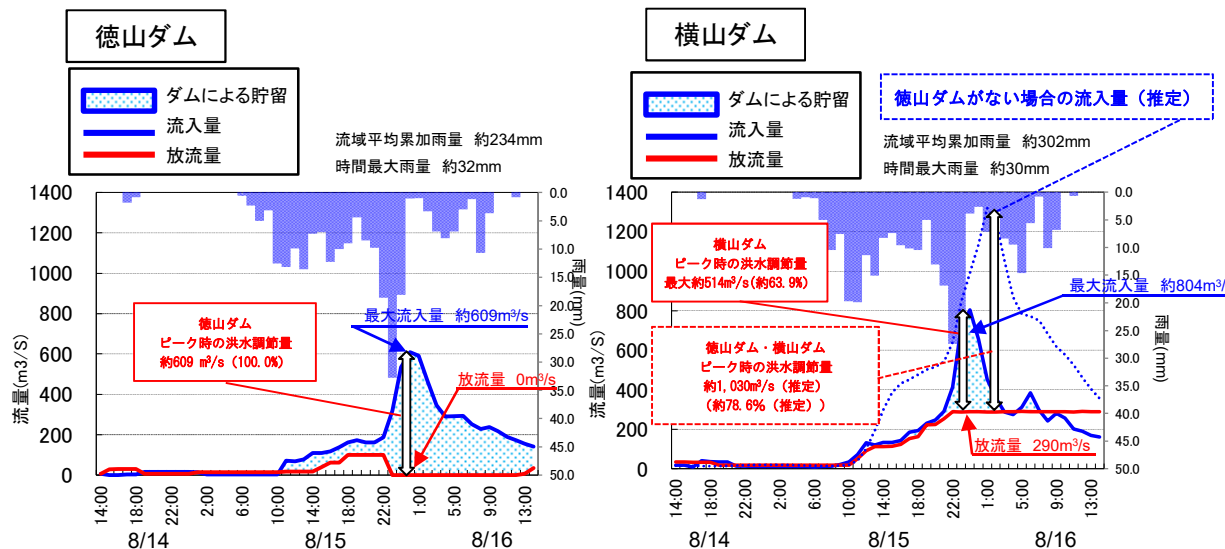
【横山ダム貯水池状況】



【万石地点(河口から40.6km)】



【徳山ダム・横山ダム連携による洪水調節】



【万石地点の水位低下量】

